

「心技体の充実に努め精進」

大関照ノ富士が誕生



大関昇進の伝達を受け、笑顔を見せる照ノ富士。両脇は伊勢ヶ浜親方夫妻。27日午前、東京都江東区の伊勢ヶ浜部屋

日本相撲協会は27日、東京・両国国技館で大相撲名古屋場所(7月12日初日・愛知県体育館)の番付編成会議と臨時理事会を開き、東関照ノ富士(23)＝本名カントルガ・ガエルデネ、モンゴル出身、伊勢ヶ浜部屋Ⅱの大関昇進を満場一致で決めた。平成生まれでは初の大関となる。

指導は厳しくなる  
照ノ富士の師匠、伊勢ヶ浜親方(元横綱旭富士)の話 優勝を目指すのが大関。まだ覚えることがたくさんある中での昇進なので、先々が楽しみ。(指導は)もっと厳しくなるだろう。

横綱に向け頑張れ  
北の湖理事長(元横綱)の話 (昇進決定は)満場一致です。これからのように育っていくのか楽しみ。気迫は十分にある。大関を守るのではなく、横綱に向けて気概を持って頑張りたい。

照ノ富士 春雄(てるのふじ)はるお＝本名カントルガ・ガエルデネ)モンゴル・ウランバートル出身、伊勢ヶ浜部屋。相撲留学した鳥取城北高から間垣部屋に入門し、11年5月の技量審査場所初十俵。部屋閉鎖により13年3月に移籍。14年春場所新入幕。関脇2場所目。この夏場所初優勝。殊勲賞1回、敢闘賞3回。得意は右四つ、寄り。通算169勝87敗。191kg、178cm。23歳。

豚生食も提供

反の承  
厚の省央定  
違反二刊

・京・瞬・歓・

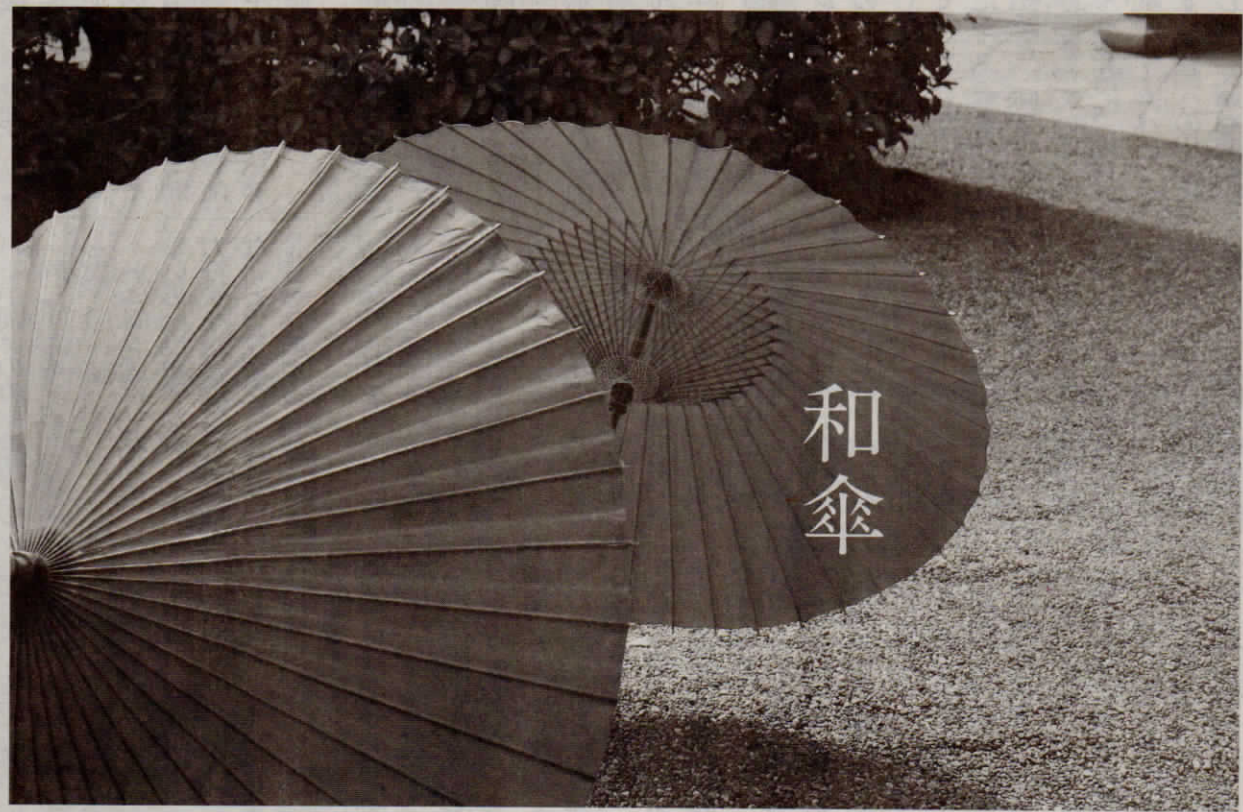
自然が織り成す豊かな風景。文化に培われた雅やかな光景。伝統が育んだ奥深い情景。心を動かす京都の瞬間の美しさ、それは歓び。

写真・文＝中田 昭  
nakata akira

vol.107



和傘をさしかけた着物の女性が、寺社や町並みの雨景にだけ込めて、京情緒をかもしだす。末広がりになった傘の美しい形と、ハンナリとした色合いにも目が惹かれる。和傘は、一本の竹を割った通りに骨を組み立てて油和紙が張られ、内側の糸飾や開閉の仕組みにカラクリのような工夫が凝らされている。京和傘の作り手は、いまでは一軒のみとなったが、その独自の構造を照明器具に展開するなど用途に広がりを見せている。



和傘

協力＝日吉屋 企画・制作＝京都新聞COM

金雲分

100円銀貨(福・風韻)を120円で特別買入

皇太子御成婚 5万円金貨を7万5,000円で特別買入

平成天皇御即位 10万円金貨を12万5,000円で特別買入

※通信販売はしていません。

313号 丸太町通

GS JR円町駅 新二条通

●太子道診療所

西小倉通 春日通 西大路通 御池通

地下鉄東西線 西大路御池駅

山ノ内駅 三楽通

約10分